平成22年度 特定非営利活動に係る事業報告書

平成22年10月1日から平成23年9月30日まで

特定非営利活動法人」キャンプ

1 事業の成果

新規事業として、カナダの女子の車椅子バスケ大会参加のコーディネイトを実施。日本代表レベルでないと国際大会に行く機会がなかなかないが、実は世界には日本代表レベルでなくても参加できるさまざまな大会がある。海外に行くために必要な準備を含め、現地での人々との交流などを通して、競技力の向上だけでなく一人ひとりの世界を広げていこうということで、「自分の力でやる」ことに重きを置いた画期的な企画として好評を得た。

また、昨年開催の「ビギナーズ」教室の充実を図った。これからまさに車椅子バスケを始めたいという全くの初心者の方、あるいは障害が重度であるがゆえに始めにくい方々等を対象とし、6ヶ月間のカリキュラムを提供。貸出用の車椅子15台も購入し、次年度からはさらなる充実を図る。

また、「ミニキャンプ」として静岡と鹿児島へ出向くなど、地方のチーム等の要請によりきめ細かい 指導を行った。静岡は3年連続での強化策としての依頼で、県の障害者スポーツ協会と協働での取り組みは これからのモデル的な事業となった。

情報の収集・調査・提供事業として、スタッフ1名をカナダで行われた女子トレーニングキャンプに研修参加派遣。その半年後、そのスタッフが女子U25のアシスタントコーチに選出されたため、すぐにその研修成果を発揮することができた (ヘッドコーチも当法人スタッフが選出された)。

さらに、昨年度より引き続き車椅子バスケットボール競技統括団体である日本車椅子バスケットボール連盟からの委託により、車椅子バスケットボールの海外関係者との連絡調整業務を行ったが、今年度は3つの国際大会への通訳派遣なども行った。

2 事業の実施に関する事項

※震災の影響により、Jキャンプ (ファンダメンタル) が急きょ中止となった(準備までにかかった支出額381千円)

事業名	事	業	内	容	実日	施時	実場	施 所	従事者 の人数	受益対象 者の範囲 及び人 数	支出額 (千円)
その他車椅子バ スケットボールの普 及・振興事業	車椅子/ キャンフ゜(1				4月~9月 土曜日)	(毎週	茨城県 大学	、立医療	10人	20人参加	
	車椅子バスケ		ットホール	ール 起	10月30・	31日	ハートヒ゜アノ	鹿児島	1人	20人参加	
	イヤン ノ (・	<i>∖−)</i>	ノ 刑省	1	2月23日		静岡県 祉会館	総合福	1人	20人参加	1,042
	車椅子/ 者勉強:		゚ットホ゛		通年(毎 20時から	週金曜日 22時)	茨 城 県 大学他	、立医療	5人	述べ50人 (参加)	
車椅子バスケットボ ール関連情報の収 集・調査・提供	する情	報を	集め	-ルに関 、調査 ジ゛にて	_ ,		法人事	務所	5人	800人	
	車椅子バスケットボールコー チングクリニックへの 指導者派遣、伝達研修					アメリカ・イ リノイ大学		1人	35人 (伝達研修 参加)	312	
	女子トレー参加、				10月9・1 6~7月	日0.	カナダモント	・エド ン	1人	80人	
大会・イベント参加支援事業	女子国 コーデ			の参加	5月5~10)日	カナダ ント	*• トロ	1人	15人参加	1, 601
		日本	車椅	整事業・子バスケ			法人事	務所他	7人	1000人	14